

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0770403699	
法人名	株式会社 ホライズン	
事業所名	グループホーム 内郷	
所在地	福島県いわき市内郷高坂町大町27-1	
自己評価作成日	平成24年12月12日	評価結果市町村受理日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉ネットワーク
所在地	〒970-8232 福島県いわき市錦町大島2番地
訪問調査日	平成25年1月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者のADL低下防止や気分転換のため、毎日ラジオ体操、レクリエーション、食前体操を行っています。また、主治医との連携を大切にし緊急時には主治医の意見やアドバイスをもらえる体制を整えています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

管理者と職員は、利用者が安全で安心して暮らせるよう日々、考え話し合い支援している。管理者は、職員の要望を聞き取り、働きやすい環境を整えることで、職員の異動が少なく、利用者は安定したケアを受けることができています。
--

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当するものに印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を 掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求 めていることをよく聴いており、信頼関係ができ ている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面が ある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地 域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関 係者とのつながりが広がったり深まり、事業所 の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表 情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね 満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な く過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスに おおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟 な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキ-) + (Enterキ-)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	(1)	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>地域密着サービスの意義と事業所理念を理解し日々実践しています。</p>	<p>管理者と職員が話し合い、安全で安心して生活できるケアを目標に、理念を作りあげている。毎朝、理念を唱和し意識付け共有し、日々の支援に繋げている。</p>	
2	(2)	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>少しずつ地域とのつながりができているが、日常的な交流は図れていません。</p>	<p>区長から地元子供会の行事を聞き、お祭りのお神輿を見せて頂いたり話をしたり、地域との交流をしている。近隣の方との挨拶をきっかけに、顔見知りの関係づくりに努めている。</p>	<p>地域との情報交換を行ないながら、事業所の行事開催時には、お便りなどを活用、参加を呼びかけ、事業所の様子を知って頂くなど、地域との交流を更に広げられるよう期待したい。</p>
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>認知症の人の理解や支援の方法を地域貢献として発信できていません。</p>		
4	(3)	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議での意見やアドバイスはとても貴重なので、今後のホーム運営に取り入れサービス向上に活かしています。</p>	<p>利用者も参加し活発な話し合いが行なわれている。近隣以外の外出支援について、地域の方と情報を交換しあい、充実したサービス向上に繋げている。</p>	
5	(4)	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>現状報告や質問なども含め、日常的に長寿介護課担当者と連絡を取り、協力関係を築いていけるようにしています。</p>	<p>小さな事でも電話で相談をしながら、市町村担当者との繋がりを持っている。研修開催の案内に、参加し、感染症についての情報を得るなど協力関係を築けている。</p>	
6	(5)	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>ミーティング等で話し合いをし身体拘束につながらないように努めています。</p>	<p>月一回のミーティングで、問題点を出し合い、資料を参考にその都度話し合いながら、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。利用者が外に出たい時や夜間眠れない時は、安全に配慮しながら、本人の思いに添い一緒に行動し、見守り支援している。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>研修やミーティング等で話し合い虐待防止に努めています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>成年後見制度について学ぶ機会がなく、理解を図り活用できるようになりたいです。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約内容について十分な説明を行い、理解納得を図るように努めています。</p>		
10	(6)	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者や家族の意見を反映させるように日々の会話や表情の中から組み取るように努めています。</p>	<p>家族の方へ電話やお便りで、利用者の生活状況を知らせ意見や要望を頂いている。 家族等が訪問した際に、気軽に話せる雰囲気づくりを心がけている。</p>	
11	(7)	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎月定期的にミーティングを行い意見や提案を聞く機会を設けています。</p>	<p>管理者と職員は、日頃からケアの細かい内容を全員で話し合い問題解決し、運営に反映させている。 管理者は職員とのコミュニケーションを取りながら、要望に添える様に努めている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>職員の日頃の勤務状況を把握し、処遇への反映、向上心を持って働けるように職場環境、条件の整備に努めています。</p>		
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人外の研修等の参加が少ないので個々の力量に応じた研修で学んでいければと考えています。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>交流している法人との研修や情報交換を充実させていきたいです。</p>		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所前に本人と会う機会を作りできるだけ安心して過ごせるように要望等を聞き入れるようにしています。</p>			
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の要望等を聞き入れ、またホームの説明も行ったうえでサービスを導入するようにしています。</p>			
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>グループホームでの生活がベストなのか家族の方と話し合いをします。</p>			
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>共に支えあえる関係を築いていければと思います。</p>			
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>全ての家族と築くのは難しいです。</p>			
20	(8)	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人のこれまでの関係を壊さないように心掛けています。</p>	<p>職場体験での地元中学生の訪問を、利用者は毎年楽しみにしている。 利用者の友人の訪問に、一緒に話に加わりながら、交流を深めている。</p>		
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者同士の関係を理解し、関わり合いを支え合えるように努めています。</p>			

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>サービスが終了しても、依頼があればできる限り対応しています。</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>なるべく本人の意向にそえる支援になるように努力しています。</p>	<p>日々のかかわりの中で、表情や言葉から、その人の希望や意向をくみ取っている。</p> <p>職員は情報を共有し、誕生会やクリスマス会等で、利用者の好む品を選びプレゼントしたり、一人ひとりの思いにそえる様、努めている。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人や家族に聞き取りをし、できる限り把握するようにしています。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの暮らし方の現状の把握に努めています。</p>		
26	(10)	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人や家族と話し合い、わかりやすい介護計画を作成するようにしています。</p>	<p>担当者会議にて、全体で内容を話し合い介護計画を作成している。</p> <p>ミーティング時に、目標が達成できているかどうかを確認し合い状況に応じて、見直し作成し、変更内容を家族等に知らせている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の個別記録で情報を共有し、実践や見直しに活かしています。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況に応じた支援を行っていただけるように心掛けています。</p>		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源を活用するまでには至っていません。</p>			
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人と家族の意見を大切に適切な医療が受けられるように支援しています。</p>	<p>月一回、協力医院の医師の往診がある他、本人と家族の希望でかかりつけ医への受診も継続できている。受診前後には、受診内容などの情報を共有し把握している。</p>		
31		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>変化があれば受診や適切な看護を受けられるように支援しています。</p>			
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病院側との情報を交換したり相談をして支援しています。</p>			
33	(12)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>事業所でできる事を十分に家族等に話しをし、医療機関とともに共有する事でチームで支援するよう取り組んでいます。</p>	<p>入居時に終末期の対応について、協力医院との緊急時の連携が出来ていることなどを説明しながら、家族や本人の意向を聞き話し合い確認している。状況の変化に応じて、その都度話し合い、意向に添える様、努めている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>応急手当の訓練は講習会に参加した事がある職員はいるが、職場内での訓練は行った事がないので、実践力が身についていません。</p>			
35	(13)	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>訓練は行っているが、全ての職員が身につけていません。</p>	<p>マニュアルを作成し掲示し、緊急時に対応できるようにしている。昼間に行なった訓練内容を夜間の職員へ伝え確認している。区長と意見交換をし、避難場所を近くの広場に変えるなど、安全な避難に向けた取り組みをしている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりのプライバシーを傷つけないよう言動には十分配慮しています。	利用者同士のコミュニケーションが上手く取れるように、個人の情報を守りながら職員同士が話し合い、声のかけ方に工夫し配慮している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の希望にそえるように働きかけています。			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れは決まってはいるが、本人のペースを大切にしています。			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人の好みに合わせて清潔感のある身だしなみを支援しています。			
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備や後片付け等の出来る所はお手伝いしてもらっているが、一緒には食事をとってはいません。	家族から頂いた、自宅で採れた野菜を利用し、一緒に準備、後片付けを行い、利用者のできる力を活かした食事作りをしている。 昼食前には、嚥下体操を行ない安全な食事に取り組んでいる。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	バランスや食事量を考えています。水分量も把握しています。			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後その方に応じての口腔ケアを行っています。			

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	できる限りオムツ使用を減らしてトイレでの排泄を支援しています。	自立した排泄ができる利用者が多いが、おむつ使用の場合にも、日中はトイレでの排泄が出来るようにケアしている。 排泄時には、プライバシーを守り見守り支援している。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	飲食物を工夫してみても無理な場合は主治医に相談しています。			
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	曜日や時間帯を決めているが、希望やタイミングに合わせて支援しています。	利用者の希望にそい個浴でゆっくりと入浴を楽しんでいただいている。曜日は決まっているが、希望の時間に入浴できている。 嫌がる人には、時間や職員を替えるなど工夫し、言葉を選び声かけをしている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の生活リズムに応じたり、その日の体調に合わせて休んでもらっています。			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	どのような薬を飲んでいるかを理解しており、薬が変われば症状の変化を観察しています。			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの役割や楽しみごとを引き出し気分転換を図っています。			
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩や買い物などは出掛ける機会を設けています。また、家族の協力で外出や外泊を得られています。	近隣への散歩を楽しんだり、自分の好きな洋服やお菓子を選ぶなど、本人の希望にそった買物に出掛けている。 職員と一緒に外の干し場で洗濯物を干すなど、外の空気にふれられるように支援している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本金銭管理は家族の方をお願いしていますが、本人の希望する物がある場合には、事業所で立て替えをし職員と一緒に買い物に行きます。</p>			
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>電話や手紙のやり取りは行っていません。</p>			
52	(19)	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を取り入れて、利用者で作った作品を掲示し空間作りに配慮しています。</p>	<p>利用者と職員が、一緒に手作りした作品をホールに飾っている。廊下には、行事ごとの写真があり、家族等が訪問した際に利用者の日頃の様子が感じられる様になっている。カーテンの開け閉めを利用者自身が行い、自由に日差しの調整をしている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居心地のよい共同居場所を工夫しています。</p>			
54	(20)	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>馴染みの物を持ってきてもらう事で、その人らしく安心して生活してもらえるように工夫しています。</p>	<p>クローゼットが大きく収納スペースがあり、すっきりとした居室になっていて、安全な歩行が保たれている。壁には手作りの品や写真が飾られ、その人らしい居室作りができています。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>混乱しないように、わかりやすく名称をつけて混乱せず安心して過ごせるように工夫しています。</p>			